

令和5年度帯広保健所感染症診査協議会総会 議事録

- 1 日時 令和5年12月12日(火) 17時30分～17時55分
2 場所 帯広保健所母子健康相談室
3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
4 議題 報告1 十勝管内における感染症の発生状況
報告2 十勝管内における結核患者登録状況について
報告3 帯広保健所の感染症対策について

5 議事

(1) 報告1 十勝管内における感染症の発生状況

ア 事務局(斎藤係長)から資料1を説明

イ 質疑応答 (有・無)

- ①レジオネラ症について、令和5年中に6名の患者の報告があったが、職種の偏り等はあるのか?(吉川会長)
→傾向はつかめていない
②梅毒発生届の医療機関は、クリニックからの届出が多いのか?(山本委員)
→泌尿器科からの届出が多い。年齢区分としては、10代の患者が多い

(2) 報告2 十勝管内における結核患者登録状況について

ア 事務局(藤田医療検査専門員)から資料2を説明

イ 質疑応答 (有・無)

- ①結核患者搬送時の感染予防は、どのようにしているのか?(吉川会長)
→従事者はN95マスク、患者はサージカルマスク、空気清浄機、車中の換気について指導している。
②運転手はN95マスクを長時間着用となるが、苦しくないのか?(吉川会長)
→介護タクシーの運転手に確認したところ、最初は若干息苦しく感じたが、その後は慣れたようで気にならなくなったと報告を受けている。
③搬送中、患者がトイレを使用する場合は、どうしているのか?(山本委員)
→高齢者の場合、基本的には紙おむつ着用で搬送している。
トイレを利用する場合は、短時間に限定しN95マスクを着用してもらう
④長距離搬送の場合、運転手の休憩が必要では?(山本委員)
→規則などについて調べてみる
⑤外国人の排菌結核患者の報告があるが、薬剤感受性は?(山本委員)
→全員薬剤感受性有りだった
⑥外国人の診療で、同意をとるのが大変だったが、その辺の対策は?(吉川会長)
→外国の方は、文化や習慣等により対応が困難ことが多い。
道として、各保健所から意見等を取りまとめている段階

(3) 報告3 帯広保健所の感染症対策について

ア 事務局(及川係長)から資料3を説明

イ 質疑応答 (有・無)

(別紙)

出席者名簿

<感染症診査協議会>

職名	氏名	選任区分	備考
会長	吉川 隆志	感染症指定医療機関の医師	
副会長	八柳 英治	感染症の患者の医療に関する学識経験者	欠席
委員	山本 真	感染症の患者の医療に関する学識経験者	
委員	泉 はるみ	法律に関する学識経験者	
委員	村上 早苗	医療及び法律以外の学識経験者	

<帯広保健所>

職名	氏名	所属	備考
技監	森 昭久	北海道帯広保健所	
健康推進課長	吉田 祐子	同上	
保健係長兼主査(感染症)	斎藤 秀哉	同上	
健康支援第一係長	及川 敏江	同上	
主任保健師	竹田 志保	同上	
医療検査専門員	藤田 道春	同上	